

市民の願い実現に欠かせない力を大きく



6月19日に流山市長に地震対策の緊急要請

大阪北部地震や豪雨災害で被災された住民と自治体のみなさんに心からお見舞い申し上げます。

流山市議会の第2回定例会（6月7日～6月27日）がおこなわれました。日本共産党流山市議団は、地震対策の緊急質問や請願・陳情の採択など市民の願い実現に全力をあげました。

コンクリートブロック塀の緊急視察（北部中）
左から、徳増きよ子、植田和子、いぬい紳一郎市議
左下は、緊急質問する小田桐たかし市議



危険なブロック塀に警告

防災対策の強化へ

ブロック塀等の 安全対策 行政・市民の共同を

大阪北部地震や千葉県沖での連続的地震をうけ、わが党は、議会最終日に緊急質問や市内視察をおこないました。

民間住宅ブロック塀などの安全対策には、行政・市民の共同が欠かせません。市内通学路の安全確保にむけ総力をあげましょう。

東海原発 再稼働に口づくみ6千人の避難民を受け入れ!?

東海第2原発は、東日本大震災で被災した老朽原発です。なのに、原子力規制委員会は再稼働に向けて「適合」と判断。流山市長も再稼働の是非を議会で答弁しません。

今議会ではわが党の質問で、水戸市から避難住民6千人を受け入れる協定を結ぶ動きが明らかに。協定を結ぶ前に再稼働反対をキッパリ表明すべきです。

小児科・産科・小児救急 不足は深刻

流山市は、小児科・産科不足を解消するため、小児科・産科を誘致する奨励金制度を創設。当局は「3～4ヶ所の小児科医院、1ヶ所の産科医院が必要」としており、一歩前進です。しかし、既存の産科・小児科には支援が何もなく、課題は残されています。

さらに、病院の小児救急は一部助成金があるものの、24時間・365日救急体制を維持するには病院の持ち出しが多く、小児科医の確保も困難。抜本的な支援強化が必要です。

市議会史上初!? 議会請願が全会一致 採択

東葛病院の腎疾患患者さんたちが市議会に提出した請願が全会一致で採択されました。腎臓病の早期発見や重症化予防対策などの進展につながるよう、引き続き力を集めましょう。

「趣旨は賛成。でも結論は反対」 学童保育

保護者が提出した「小学4年生以上も学童保育が利用できるよう求めた陳情書」に対し、議会討論で一部の会派は「趣旨は賛成」と言いながら、結論は反対。「どうということ…?」保護者から苦情の声が聞かれています。

流山民報

2018年 7・8月号 NO.196号

流山市加4-1688

TEL/FAX (7157) 6140

日本共産党 giindan@nagareyama-jcp.jp

流山市議団 http://www.nagareyama-jcp.jp/

流山市議会事務局 TEL (7158) 1111

ご意見・ご要望をお寄せください